The Lindt & Sprüngli Farming Program

リンツ ファーミングプログラム

カカオ豆の原産国では、カカオ生産は根深い課題に直面しています。
小規模なカカオ農家では、カカオの木の老朽化や病害などにより収穫量が減り、収入が不十分になる可能性があります。さらには不十分なインフラと農業の機会設備の乏しさなど、生産国におけるカカオの生産はまだまだ簡単ではありません。最後に、気候変動や森林伐採などの環境問題も重要な問題となっています。

これらの課題に取り組むことが私たちの優先事項です。
ファーミング プログラムの目標は、現在および将来のカカオ生産者とその家族が、まともで環境の変化にも柔軟に適応ができる生計を立て、持続可能な農業ができる土台を強化することです。私たちは、農場の生産性の向上、世帯収入の多様化、生物多様性と自然生態系の保全、児童労働のリスクの軽減、コミュニティのインフラストラクチャの改善を促進することにより、これを達成することを目指しています。

ファーミングプログラムとは

リンツのファーミングプログラムは、自社で使用するカカオ豆の 100% をカバーし、「bean to bar」モデルに基づいて構築されています。これにより、カカオ農家から工場に届くまでの調達過程のすべてのトレーサビリティの実現と各工程での責任を負い、それぞれのニーズや状況に応じてカカオ農家と農業コミュニティを直接サポートすることができます。リンツのチョコレートに使われているカカオ豆は、ファーミングプログラムに登録している農家のみで作られています。ファーミング プログラムは 2008 年にガーナで開始されました。その後、ガーナ、エクアドル、ドミニカ共和国、マダガスカル、パプアニューギニア、ペルーの 6 つのカカオ豆調達地すべてに拡大しました。 2021 年にはカカオ豆だけでなく、カカオバターの調達先もファーミングプログラムの対象に追加され、コートジボワールも加わりました。ファーミング プログラムは、健全な農業、社会、生態、経済の慣行に従って農場を管理し、生産性を向上させる力を農家に与えます。この取り組みは、収入の多様化と、農家とその小規模農地の環境の変化への適応性の向上も対象としています。

ファーミングプログラムとは

現地のパートナーは、専任の現場スタッフのチームと共に現場でプログラムを実施します。 2021 年には、世界中で 91,000 人を超える農家と 559 人のフィールド スタッフのチームがファーミング プログラムに参加しています。
ファーミング プログラムは、全ての利害関係者に対し、ファーミングプログラムにより定義された、安定したカカオ農家の基盤から調達する高品質のカカオ豆の供給を保証します。2020 年以降、当社のカカオ豆の 100% はカカオ農家まで調達過程をさかのぼることができ、全てのプロセスにおいて、ファーミングプログラムが定める規定に則り活動が行われているかを外部機関でも検証しています。これは、2025 年までに、持続可能な生産活動を実現するためのファーミングプログラムを通じてすべてのカカオ製品 (豆、バター、粉末) を調達するという目標に向けた大きな一歩です。

リンツ独自のカカオ豆の持続可能性プログラムを通じて、これらの投資が自身のバリュー チェーンにおける持続可能性を直接改善し、そしてそれらの影響が生産者とそのコミュニティにまで到達することを保証します。これは開発プログラムと同様に外部機関により管理され、供給されるカカオ豆 1 トンごとに支払われる価格プレミアムと、リンツ カカオ財団からの寄付によって賄われています。 2008 年以来、リンツではファーミング プログラムに合計 6,140 万スイス フランを投資しており、そのうち 1,510 万スイス フランが 2021 年に投資されました。

具体的な取り組み　～４つの柱～

１. カカオ豆のトレース

サプライ チェーンの農家にプラスの影響を与えるには、カカオ豆の産地を知る必要があります。したがって、私たちのプログラムは次のように始まります。

①ファーミングプログラム実施のための農家の登録とグループの編成
②それぞれの農場のニーズの把握と、最適なプログラムの形成のために、各農場 (GPS 座標と農場区画情報を含む)、農家、コミュニティに関する基本データを収集
③カカオ農家から工場まで、カカオ豆の確実なトレーサビリティ システムを確立する

具体的な取り組み　～４つの柱～

2. 農家の教育

理論的および実践的なトレーニングとコーチングを通じて、農家は次のような専門性を身に付けることができます。

①カカオ豆の植え付け、維持、収穫、発酵、乾燥を含む農業慣行
②生物多様性や環境の保護などの環境活動
③健康、安全、労働基準、児童労働などのトピックに対する社会的慣習と感受性
④簿記、農場管理、収入の多様化などのビジネス慣行

具体的な取り組み　～４つの柱～

2. 農家とコミュニティへの投資

農家が多様化して収入を増やし、レジリエンスを向上できるようにするために、プログラムは以下を提供します。

①生産的で耐病性のあるカカオの苗木、およびシェードツリー(日よけの木)
②現物プレミアム（農具や資材など）または現金プレミアム
③金融知識とサービスへのアクセス
④研修や開業資金による副収入の支援

具体的な取り組み　～４つの柱～

4. ファーミングプログラムの外部検証

プログラムの有効性と信頼性を保証する目的で、構造化された内部および外部評価が行われます。

①農家の農業、社会、生態学的、および経済的慣行の進捗状況を評価するための、プログラムのすべての農家への毎年の訪問に基づく、プログラムの現場スタッフによる内部監視

②Earthworm Foundationによる毎年の外部評価 (各産地への訪問を含む)

③プログラムの継続的改善のための、収集されたデータと外部評価結果に基づく是正措置の特定、議論、および実施

マイルストーン

2008年　ファーミングプログラムの開始。ガーナで、トレーサビリティに重点をおいたコミュニティの開発。
2012年　ファーミングプログラムをトレーサビリティ＋農家への教育や投資、外部機関による検証などを追加
2013年　リンツカカオ財団を発足
2014年　エクアドルがファーミングプログラムに追加
2015年　マダガスカルがファーミングプログラムに追加
2016年　ガーナにおけるカカオ豆のサプライチェーンにおける100%のトレーサビリティを確立
2017年　パプアニューギニアがファーミングプログラムに追加
2018年　ドミニカ共和国がファーミングプログラムに追加、全てのカカオ豆原産地がプログラムに加盟完了
2019年　森林伐採禁止とカカオのためのアグロフォレストリー行動計画の開始。
2020年　中間目標を達成:　100% 追跡可能で外部検証済みのカカオ豆の供給
2021年　ペルーでファーミングプログラムが開始
2022年　コートジボワールでココアバターも含む産地でファーミングプログラムを開始
2025年　2025 年までに、カカオの 100% で持続可能プログラムを通じた調達を実現